

# 同窓会だより

平成12年9月25日発行  
東京学芸大学教育学部  
附属竹早小学校同窓会

会長 内藤祐次  
発行責任者  
宇津元一朗  
印刷 タケハヤ(株)

No. 20

題字：内藤祐次



同窓会会長挨拶

「今、幼少期の教育に求められるもの」

エーザイ株式会社社長  
昭和八年卒

内藤 祐次

約百年前の『報知新聞』（明治三十四年一月三日付）に大変興味深い記事があります。「二十一世紀の豫言」と題し、当時の新世紀つまり現代を予測しているのですが、面白いほどにほぼ当たっているのです。

たとえば今で言う国際通話、ファックス通信、テレビ電話、インターネットショッピング、エアコンの実現、交通機関の発達等など……。多分当時の感覚からすれば、全くの奇想天外の発想であったにも拘らずにです。しかし、これだけの適中率でありながら外れたものもある、「幼稚園の廃止」です。要約すれば、「家庭に無教育の人はいなくなり、幼稚園の必要性はなくなる」といった意でしたが、何より大切な教育に関わるだけに少々意外でした。

専門家のご意見ならずとも、われらが幼児・学童期を鑑み、他人との交流から学ぶ「幼少期の心の教育」ほど、後々の人格形成に大事なものはありません。昨今の「十七歳」に象徴される少年たちの悲惨な出来事を耳にするたび、一層その思いを

強くいたします。

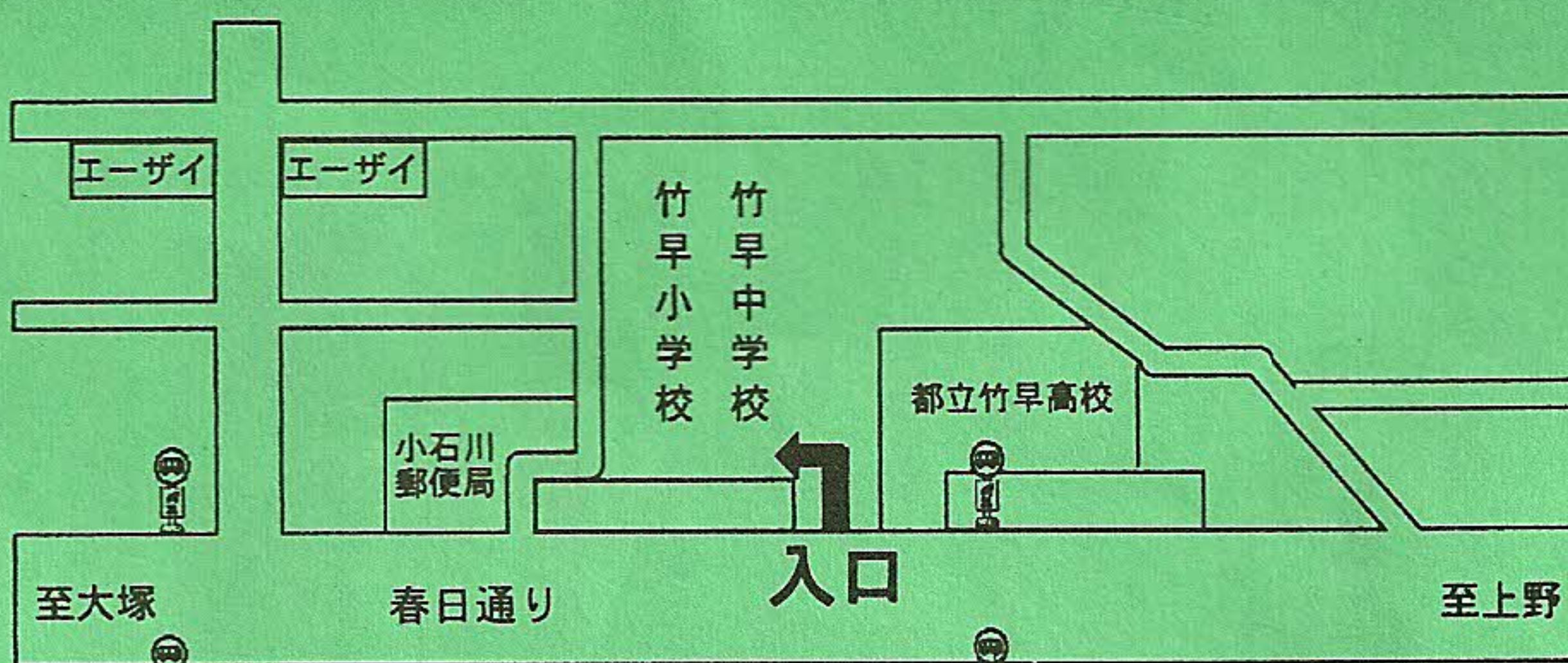
これからの少子化問題に加え、少年たちを取り巻く環境は、抜本的な見直しが迫られております。わが国における小学校教育の常に先陣を切ってきた伝統あるわが母校から、社会の変化に対応しつつも、確固たる教育理念が世に発信されていかれますことを期待してやみません。

さて私事になりますが、この度、同窓会会長職のお役目を辞することといたしました。昭和六十二年、今井理事長からバトンタッチ、爾来十三年間、何とか職務を全うできましたのも、歴代校長・村内哲二先生、古閑永之助先生、次山信男先生、東原昌郎先生、副校長・関貞雄先生、柳辰男先生、横井利男先生、酒井実先生を始め諸先生方、諸職員、そして同窓会の理事、会員の皆様様に賜りましたご協力とご厚情のお蔭と厚くお礼申し上げます。終わりに、本校と同窓会のみならず、ご発展を心から祈念いたしました。挨拶に代えさせていただきます。

## 100周年記念同窓会のお知らせ (平成12年度 総会・懇親会)

- 会場 竹早小学校ランチルーム
- 日時 平成12年11月11日(土)  
正午～ 学校開放  
(100周年記念展示もあります)  
午後1時～ 受付開始  
午後1時半～2時 総会  
午後2時～4時 懇親会
- 会費 一般 7,000円  
昭和25年卒の会員 3,500円  
(祝・卒業50周年)  
中学生・高校生 2,500円
- ご招待 現・旧職員の方々  
昭和10年卒以前の会員  
(喜寿以上の会員)

100周年を祝い新しい校舎で  
歓談のひとときを！  
記念品も用意しております。  
是非ご出席下さい。



春日通りに面した正門（都バス春日二丁目下車）が入口です

ご出欠のお返事は同封のはがきにご記入の上10月15日(日)必着でお知らせ下さい。